

2018年5月8日  
愛知製鋼株式会社

## 第28回世界競歩チーム選手権 丸尾知司選手（50kmW）が3位、山西利和選手（20kmW）が4位入賞 ～団体国別チーム戦優勝に大きく貢献～

愛知製鋼陸上競技部（監督：児玉泰介）所属の丸尾知司選手と山西利和選手が、5月5日（土）・6日（日）に中国・太倉にて開催された「第28回世界競歩チーム選手権 兼 ジャカルタ2018アジア競技大会 男子50km 競歩日本代表選手選考競技会」へ日本代表として出場しました。

丸尾選手は、昨年8月に開催された「世界陸上競技選手権大会」において、5位入賞を果たしました。今回は、男子50km 競歩に出場し、一緒に出場した日本代表選手とともに最後まで粘り強い歩きを見せ、1位・2位に続き、3時間44分52秒の3位でゴールし、日本人選手が金・銀・銅と上位を独占しました。

4月に入社したばかりの山西選手は、社会人として初めての大会となった今回、男子20km 競歩に出場しました。レース序盤から先頭集団でレースを引っ張る積極的なレースを展開し、1時間21分53秒でゴール、4位に入賞しました。

世界競歩チーム選手権は、隔年で開催している大会で、2014年まではワールドカップ（W杯）として行われ、2016年から世界チーム選手権となりました。今回は、男子50km および20km 競歩で日本チームが優勝し、2人の歩きがチーム優勝の原動力となりました。

愛知製鋼陸上競技部では、今後も更なるチーム力強化を推進し、世界の舞台で活躍できる選手の育成に努めるとともに、よりいっそうの日本のスポーツ振興と地域貢献を果たしてまいります。



男子50km 競歩で活躍する丸尾選手（写真右）



丸尾選手



山西選手

以上